

涼を求めて



季節限定 流し そうめん



デイサービスセンターころろ 西川 明美

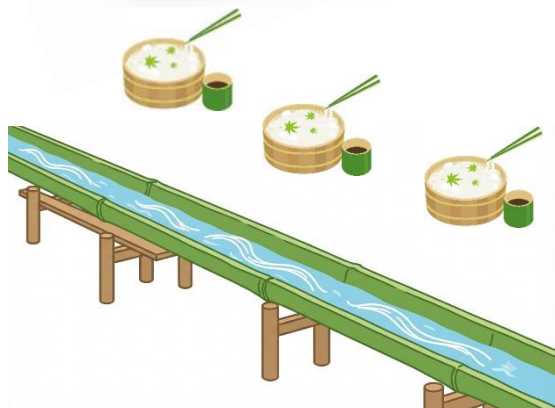
日本列島 彼方此方で 連日40度超の「酷暑日」が報道され、「熱中症には気を付けましょう」「涼しい部屋で過ごしましょう」「充分水分摂取しましょう」と繰り返し流れてきます。そんな茹だるような猛暑日の7月24日「流し そうめん」を行いました。

室内に軒先の雨樋を使用して そうめんを流す台を準備。上流から水を流し ゆがいた麺を流すという見た目にも 涼風を誘う装置に、麺がスムーズに流れる角度・水の勢いを調整。上流より流れる水に「お〜!」「すごい!」と歓声が上がりました。本日のおやつと伝えると「昼ごはん後で、お腹いっぱい!」との声も聞かれました。夏の風物詩として、目で見て楽しんで貰えることを説明すると納得。「そうめん」と「ゲーム」の2組に分けられました。

「そうめん流し」の方は 職員の「麺・フルーツ 流れま〜す」「取って下さい」の声に応じて「うわぁ、流れてしもた!」「掴めなかったわぁ」「早いな!」など声も聞かれました。ゲームをされてる方も 氣になるようで キョロキョロと落ち着かず、隣に座る方に「うまく掴めるかな!」「食べられるかな!」と心配される様子も見受けられました。



流れてしもた!



取れた!

